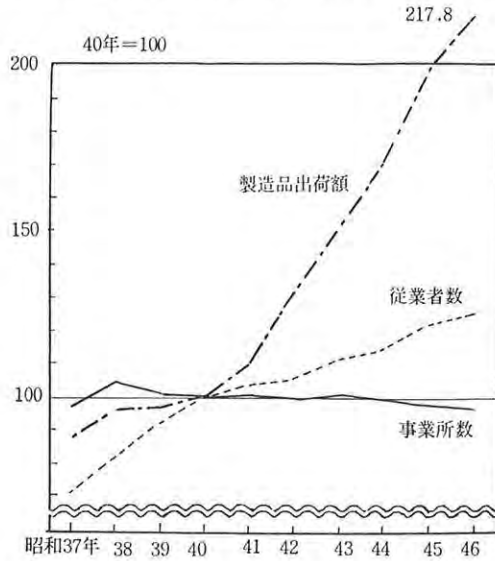
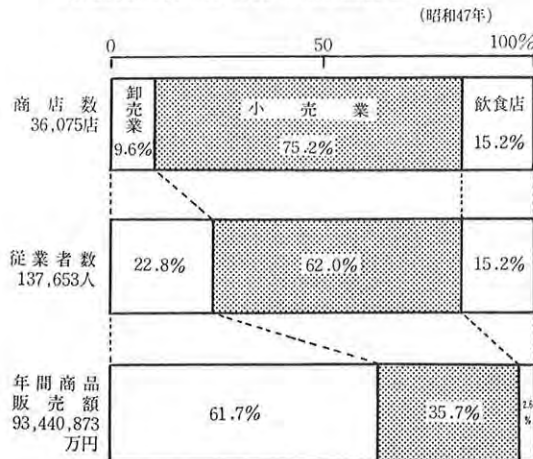


工業事業所数・従業者数・製造品出荷額等のうごき



業種別商店数・従業者数・年間商品販売額の割合 (昭和47年)



つくる漁業に力こぶを

県内商工業の九九%は、中小企業であり、県産業の中で重要なウエイトを占め、県経済の発展にすくなく寄与しています。

現在の中小企業をめぐる環境は、円の切り上げ、変動相場制への移行等非常に厳しいものがあり、本県の中小企業も内外両面から課題が山積して、きわめてきびしい事態に遭遇しています。

従って、これに対応するためには、企業者自らが近代化への意識の昂揚と人材の育成を図り、企業の体質強化を図ることが緊要でありますので、昭和四十八年度はこの面の指導を一層強化してまいります。

また中小企業の自立および合理化を積極的に援護するため、中小企業高度化資金等、政策金融を大幅に増額したほか、小規模企業対策においても信用補完制度を充実する等の措置を行なっております。

貿易の振興は、厳しい国際経済情勢の中でこれに適應する体制を確立しつつ積極的な市場開拓を推進するため、見本市商談会の開催、市場調査団の派遣等を実施します。

★ 中小企業近代化、高度化等の推進： 九百五十三万円

中小企業の体質改善のため、工場等集約化、協業化、企業合同等の構造改善による高度化事業を促進します。なお、下請企業の受注機会の拡大を図るため、県

内外からの受注斡旋を積極的に進め、また大型小売店の新増設に対応するため、小売商業の環境整備、商店街再開発等の高度化の推進およびコンビニエンス・ストアなどを推進します。

★ 小規模事業者対策の強化…… 三億一千三百二十万円

企業体質が弱く、環境変化の適応が困難な小規模事業者対策として経営改善及事業を強力に推進し、企業の合理化を促進します。

★ 金融対策の強化…… 三十六億七千四百十万円

中小企業の健全な育成を推進するため、政府系金融機関資金の積極的な導入、県歳計現金余裕金貸付等の拡大、信用組合小口資金融資制度の新設、貸付条件の緩和および信用補完制度の強化等により、中小企業金融を充実してまいります。

★ オーストラリア商談会…… 八十四万円

昭和四十七年に引き続き本年度は、シドニー、メルボルンの両市、およびニュージーランドのオークランドにおいて取引商談会を開催し、県物産の販路の定着を図ってまいります。

★ ハワイ市場の開拓…… 百五万円

中小企業物産の販路の新規開拓を図るため、ハワイ、ホノルルにおいて物産展および取引商談会を開催します。

私達の重要な蛋白質の供給源である水産業は、本県では重要な産業の一つです。漁業の経営体数からみますと全国第三位、九州第二位にあります。生産面からみますとクルマエビ全国第一位、真珠全国第五位など浅海養殖面ではいいものもありませんが、海面漁業の生産量は全国の中でも中位にあります。

そこで県は、漁場の汚染増大、他産業の進出に伴う漁場の喪失などによる環境悪化に対処し、水産業自体のもつ生産の不安定さから脱脚して、漁獲の安定に寄与する計画生産の実現を図り、つくり育てる漁業である栽培漁業を新しく展開します。また、本年度からの第五次漁港整備計画に基づき、拠点漁港の整備を図ります。

★ 大規模増養殖推進事業： 四千三十四万円

栽培漁業事業化の中核である増養殖漁業の推進をはかるため今年度から三ヶ年にわたって近代的手法による画期的な各種試験を実施し、増養殖漁業の基地づくりを図ります。

事業のあらましは次のとおりです。

- ① 養殖近代化試験—マダイ、カワハギ、ボラなどの魚類とカキ、ヒオオギなどの貝類の試験に二千三百四十二万円を計上しました。
- ② 資源培養繁殖放流試験—アワビとクルマエビの試験に四百三十七万九千円を計上しました。
- ③ 栽培漁業保全管理試験—漁場保全の諸調査に千二百三十九万円を計上しました。

④ 漁場開発の基礎調査—十五万円

★ 貝類資源開発…… 六百三万円

本県は有明海、不知火海など全国でも指折りの干潟漁場を有し、貝類の生産量も全国二位を占めています。この貝類資源を総合的に開発するため、第二次沿岸漁業構造改善事業に対応して次の事業を実施します。

- ① 種苗発生施設設置補助—緩流式による種苗の発生施設を設置する際に補助として四百万円を計上しました。
- ② 沖合移植時付事業費補助—稚貝及び密殖漁場から未利用漁場や粗殖漁場へ移植する際の補助として百六十五万円を計上しました。
- ③ 県外産ハマグリ導入費補助—十四万円

★ 漁業金融対策…… 五億千万円

魚類等養殖漁業の生産性向上と漁家経済の安定をはかるため、特に漁業振興資金貸付金を効率的に活用します。これは農林中金に県の財政資金を貸付けるもので、今年度は五億円(四十七年度三億円)のうち、一億円は内水面漁業関係の枠とし、末端金利は従来七%から六・五%と低利にしました。

★ 漁業取締船の建造…… 一億四千五百万円

現在の漁業取締船「あそ」は老朽化してスピードが落ちていますが、天草西方海域を侵犯する沖合底びき網漁船は、性能が向上し、検挙することが困難になってきています。このため、優秀な代船(鋼船二〇トン級)を建造し、装備を充実して取締りの万全を期します。